

令和2年洞爺湖町教育委員会第4回定例会会議録

日 時	令和2年10月28日(水) 9:30より
場 所	役場第2委員会室
出席委員	教 育 長 皆 見 亨 委 員 岩 原 義 美 委 員 吉 田 聡 委 員 岡 本 里 佳 委 員 来 栖 由 喜
欠席委員	無し
説明員	管理課長 末 永 弘 幸 社会教育課長 角 田 隆 志
会議録調整者	管理課主幹 尾 崎 文 郎
傍聴者	無し
日程第1 【開会宣言】	<b>皆見教育長</b> 開会を宣言する。(9:30)
日程第2 【前回会議録の承認】	<b>皆見教育長</b> 各委員の署名により、承認を確認。
日程第3 【教育長諸般の報告】	<b>皆見教育長</b> 8/31 総務常任委員会(役場委員会室) 9/2 退職教職員永年勤続表彰状贈呈(受賞者3名・各学校にて贈呈) 9/10 町議会9月会議(議事堂) ~18 9/12 虻中祭(虻田中学校グラウンド) 9/13 北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産認定に係るイコモス現地調査(入江・高砂貝塚館他) 9/16 胆振へき地複式教育連盟会長 来庁(教育長室) " 胆振教育局学校経営指導監 来庁(教育長室) 10/2 教育委員保育所訪問随同行及び総括(役場委員会室) " 教育委員協議会(役場委員会室) 10/4 虻田小学校運動会(虻小グラウンド) " 文化団体協議会主催パークゴルフ大会(夕日が丘パークゴルフ場)

- 10 / 5 定例校長会（役場委員会室）
- 10 / 6 連合北海道胆振地域協議会会長 来庁（町長室）
- 10 / 9 定例教頭会（役場委員会室）
- ” とうや小学校運動会（とうや小グラウンド）
- 10 / 16 町議会10月会議（議事堂）
- 10 / 21 胆振教育庁山上局長来庁（教育長室）
- 10 / 28 教育委員定例会議（役場委員会室）

### 皆見教育長

ただいまより、洞爺湖町教育委員会令和2年第4回定例会を開催します。

日程第2、前回会議録の承認でございます。

事前に会議録に署名をいただきました。これをもって承認とさせていただきます。

日程第3、教育長の諸般の報告でございます。

議案書の1ページに記載のとおりでございますが、9月10日から18日に行われた町議会9月会議における、教育委員会に対する一般質問への回答の内容について御報告をさせていただきます。

質問者は3名ございました。

1つ目に男女共同参画計画の策定について、2つ目にコロナ禍での学びの確保と感染防止対策について、3つ目に感染症対策を考慮した少人数学級と、保育所の統合についての質問ございました。

1つ目の男女共同参画計画の策定につきましては、今年度中に計画策定に向けた整備スケジュールを定め、次年度より策定に向けた作業に取り組むこと、2つ目のコロナ禍での学びの保障等感染防止対策につきましては、臨時休校に伴う履修状況については概ね全ての学校において遅れはないこと、感染症対策としては消毒液などの消耗品購入の他、網戸の設置や水道蛇口のレバー式への取り替え、扇風機やサーキュレーター、空間除菌清掃機の購入などによる、衛生環境整備を順次行っていること。

3つ目の感染症対策を考慮した少人数学級と、保育所の統合につきましては、きめ細かな教育活動と併せ、新型コロナウイルス感染症対策としても、少人数学級が有効であることを考え、国の動向を注視しながら必要があれば要望活動を行うこと。

また、虻田小学校の空き教室を活用した保育所の統合につきましては、現時点での変更の予定はありませんが、今年度予定している基本設計を基本計画に改め、慎重に進めることとしている旨、回答しています。

次に、日程第4、報告事項に入ります。

議案書2ページになります。

報告第22号、臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和2年9月会議提出一般会計補正予算（第5号））事務局から報告をお願いします。

末永管理課長

日 程 第 4

【 報 告 事 項 】

・ 報告第22号

報告第 22 号、臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令和 2 年 9 月会議提出一般会計補正予算（第 5 号））でございます。

洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則（平成 18 年洞爺湖町教育委員会規則第 4 号）第 2 条第 1 項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので同条第 2 項の規定により、これを報告するものでございます。

3 ページにつきましては、教育長から町長へ異議がない旨の文書。

4 ページにつきましては、町長から教育長へ意見を求める文書でございます。

補正予算の内容につきましては、歳入歳出予算事項別明細書、6 ページから 7 ページとなります。

6 ページは歳入になります。

15 款国庫支出金、2 項国庫補助金、7 目新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時補助金、1 節新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時補助金で、補正額 69,648 千円の増額となっています。この内 25,347 千円が、教育委員会関係分でございます。

これにつきましては、幼児、児童生徒の感染症予防対策としまして、空間除菌清浄機、それと自動手指消毒機、ソープディスペンサーをそれぞれ町内の各小中学校保育所、放課後児童クラブに設置する購入費用に充てる財源でございます。

続きまして 19 款繰入金、1 項繰入金、1 目繰入金、1 節繰入金、公共施設等整備基金繰入金で、補正額が 206,300 千円の減額で、この内 6,300 千円が教育委員会の関係分でございます。

これにつきましては、虻田中学校の 2 年生教室の外装修繕工事、洞爺中学校の体育館改修工事实施設計委託業務それぞれを、来年度以降の実施としたことに伴う減額でございます。

続きまして 7 ページになります。

歳出になります。

10 款教育費、3 項中学校費、1 目中学校管理費で補正額が 6,389 千円の減額でございます。

これにつきましては、先ほど歳入でもご説明しましたが、12 節の委託料につきまして 2,409 千円の減額で、洞爺中学校体育館改修工事实施設計委託業務について、実施設計前に点検業務を行い、工事個所を確認した後、実施設計業務を行うことが道教委へ再確認したところわかりましたことから、今回減額をしたものでございます。

続きまして 14 節工事請負費につきましては 3,980 千円の減額で、虻田中学校の 2 年生教室外装修繕工事について、夏休み期間の短縮によりまして、施工する際に発生する騒音が授業の妨げになる恐れがありますので、来年度以降に工事を実施することから減額をしたものでございます。

続きまして 14 款新型コロナウイルス感染症対策費、1 項新型コロナウイルス感染症対策費、2 目衛生対策費で補正額が 25,875 千円の増額でございます。

10 節需用費、289 千円につきましては、ソープディスペンサー及び自動手指消毒機を保育所に設置し、感染症の予防対策を図るための費用となっております。

17 節. 備品購入費につきましては、25,586 千円の内、教育委員会関係分につきましては 25,347 千円でございます、町内の各小中学校、保育所、放課後児童クラブ、これらの施設に空間除菌清浄機を設置しまして、感染症予防対策を図るための、増額の補正となっております。

以上でございます。

#### 皆見教育長

ただ今事務局のから説明がございました。復唱しますが歳出の部分についての委託料 2,409 千円の減につきましては、洞爺中学校体育館の吊り天井の改修工事の実施設計でございますけれども、道教委に手順を確認したところ、実施設計前に点検業務による確認が必要であるということが判明したことから、実施設計を取りやめることに対する減額補正。

それから 14 節の工事請負費 3,980 千円につきましては、虻田中学校 2 年生教室の外装修繕工事でございますけれども、施工中の騒音が授業に影響を及ぼすことに配慮をしまして、夏休み休業期間中の工事を計画してはいたのですが、新型コロナウイルス感染症対策により、臨時休業期間の授業時数確保のため夏休みの期間を短縮した結果、その夏休み期間では工事が完了しないことから減額補正なったこと。

14 款の新型コロナウイルス感染症対策費の需用費並びに備品購入費については、各学校、保育所、学童保育における空気除菌清浄機並びに感染症対策における消耗品等これらに関連する予算として 25,347 千円の増額という内容でございました。

質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

よろしいですか。

《「なし」の声あり》

はい、ありがとうございました。

それでは以上のおり報告を受けたということで御了承願います。

次に、議案書 8 ページになります。

報告第 23 号、管理課所管の各種事務事業の取組状況について事務局のから報告をお願いいたします。

#### 末永管理課長

8 ページになります。報告第 23 号、管理課所管の各種事務事業の取組状況について、管理課所管の各種事務事業の取組状況につきまして次のとおり報告するものでございます。

1 寄附について、食材の寄附でございます。

これにつきましては、洞爺湖町の学校給食センターへの食材の寄附でございます、住所、洞爺湖町入江 84 番地 2、寄付者名、企業組合あふた、代表理事福島浩二氏よりカボチャのペースト 22.5kg の寄附を頂いております。

2 公立高等学校配置計画の決定についてでございます。

9月7日、北海道教育委員会は令和3年度から令和5年度に係る公立高等学校配置計画と、令和6年度から令和9年度までの見通しを公表しました。

胆振西学区に関しては、本年6月に公表された計画案からの変更はなく、令和5年度に室蘭栄高等学校で1学級減となっています。

また令和6年度から令和9年度までの見通しとしては、中卒者が150人減少することが見込まれることから、「4年間で、3～4学級相当の調整が必要」、「中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況を考慮し、室蘭市内において再編整備を含めた定員調整の検討が必要」、「欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要」となっています。

なお、虻田高等学校が含まれる地域連携特例校に関しては、「5月1日現在の第1学年の在籍者数が20人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した上で、再編整備を留保」としています。この内容に沿い、1年生在籍者数16人の虻田高等学校について、令和5年度は再編整備保留となっています。

3 新型コロナウイルス感染症に関する対応等について、(1) 洞爺湖町育英資金特別給付金の給付状況についてでございます。

給付決定件数、10月22日現在で99件でございます。

在学の区分での内訳でございますけれども、大学は68件、短期大学は8件、専修学校（専門課程）23件となっています。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策への寄附についてでございます。

10月15日に株式会社ニトリホールディングスから北海道へ寄附した後、全道の児童福祉施設等へ寄贈されたものでございまして、物品名は、不織布マスクです。放課後児童クラブ職員用で3箱（1施設1箱）の寄附を受けています。

(3) 小中学校及び保育所のマスクの配布状況についてでございます。

令和2年10月15日現在の状況でございますけれども、各施設の合計数のみ読み上げさせていただきます。

虻田小学校1,634枚、洞爺湖温泉小学校500枚、とうや小学校664枚、虻田中学校1,142枚、洞爺中学校438枚で町内の各小中学校合計で4,378枚でございます。

次に本町保育所605枚、入保育所598枚、桜ヶ丘保育所511枚、洞爺保育所466枚で、保育所の合計で2,180枚でございます。町内小中学校と保育所の合計で6,558枚でございます。

以上でございます。

#### 皆見教育長

質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

《「なし」の声あり》

・報告第24号

よろしいでしょうか。

《「はい」の声あり》

以上のとおり報告を受けたということで御了承願います。

次に、議案書10ページ報告第24号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について事務局から報告をお願いします。

#### 角田社会教育課長

報告第24号、社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について。

社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告するものでございます。

1 寄附について、(1) 金員の寄附でございます。

洞爺湖スポーツクラブ会長青木佐智子氏、金額37,367円でございます。

これにつきましては、洞爺湖町スポーツ振興基金への指定寄附となっております。

続きまして(2) 文化財関係図書等の寄附でございます。

佐藤忠氏所蔵の図書でございます。

洞爺湖町高砂町84番地32、長沼麻紀子氏から寄附をいただきました。

図書29冊、地図・絵葉書等5点でございます。

こちらにつきましては、虻田郷土資料館へ所蔵することとしております。

(3) 図書の寄附でございます。

洞爺湖町入江55番地、齋藤敬子氏より、図書8冊、寄附を受けてございます。

洞爺総合センター図書室への指定寄附となっております。

(4) 郷土資料の寄附、洞爺湖町洞爺町73番地6、佐長邦愛氏より、電信和文ライター1台、電気式蓄音機1台、こちらにつきましては、洞爺郷土資料室へ展示することとしております。

2 縄文遺跡群世界遺産現地調査の実施についてでございます。

世界文化遺産に推薦されている「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、ユネスコの諮問機関である、国際記念物遺跡会議、ICOMOSによる現地調査が9月4日から9月15日までの期間で実施されましたので報告するものでございます。

洞爺湖町は9月13日日曜日に実施されました。

このたびの調査では、文化庁をはじめとする関係機関、専門家からのアドバイスを踏まえて対応を行い、調査員に一定の理解を得たものと考えてございます。

今後の予定につきましては、令和3年5月ごろに現地調査に係る勧告が出され、さらに、同年7月ごろに行われるユネスコ世界遺産委員会で登録の可否が決定する見込みとなっておりますが、新型コロナウイルスの影響で、日程は不透明なものとなっております。

今後とも関係自治体との連携を図り、文化庁や専門家委員会の指導、助言を得ながら、世界遺産登録実現に向けて取り組んでまいりますので、ご支援

日 程 第 5  
【 協 議 事 項 】  
・ 協 議 第 3 号

とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

#### 皆見教育長

質問があればお受けしたいと思いますですが、いかがでしょうか。

《「なし」の声あり》

よろしいですか。

《「はい」の声あり》

それでは以上のとおり報告を受けたということで御了承を願います。

次に日程第5、協議事項に入ります。

協議第3号、学校訪問総括についてを議題といたします。

事務局説明をお願いいたします。

#### 末永管理課長

協議第3号、学校訪問総括についてでございます。

12ページになります。

学校訪問の総括につきまして別紙のとおり協議をするものでございます。

議案書とは別冊で、令和2年度教育委員学校訪問概要の報告という、冊子がございますので、これに基づきまして説明させていただきます。

今年度の学校訪問につきましてはコロナ禍での訪問となりましたことから、町内各小中学校の訪問時間を例年より短縮しまして、9月29日火曜日、30日水曜日に実施してございます。

1ページになります。

虻田小学校につきましては、9月29日火曜日に訪問してございます。

虻田小学校の最重要課題につきましては学力向上となっております。

委員会のまとめについて、要点のみ説明させていただきますけれども、1点目としましては、コロナ禍で子供たちにとって1番大切なことは学習の取り組みとなるが、勉強以上に子供たちの交流や学校でしかできないことを、例えば運動会を行ったり、遠足を行ったりと子どもたちが小学校で経験することを先生達が行事を工夫するなど、一生懸命に取り組んでいると感じた。

2点目は、校長先生により学校の雰囲気随分変わるものと思いき、前年度もすごくいい場面があったが、学校全体がちょっと落ち着きがないと見受けられる場面もあったが、今年度はすごく落ちついてるように見えたとなっております。

続きまして2ページ、洞爺湖温泉小学校になります。

洞爺湖温泉小学校につきましては、9月29日の火曜日に訪問してございます。

学校の最重要課題につきましては、「安全」児童の安全、教職員の安全、学校の安全となっております。

委員会のまとめとしまして主に2点ありまして、地方からの観光客と接する職業の保護者が多く、感染者を出したくないという子どもたちを守りたいという思いから、行事を実施しない代わりにオンライン配信による先駆的な

取り組みをされていることに感心した。

2点目は、学校経営に対する理念がはっきりしており、複式教育が新しい教育方法の一つとした、学校経営のあり方が必要だと感じたとなっております。

3ページ、とうや小学校になります。

とうや小学校につきましては9月30日水曜日に訪問してございます。

学校の最重要課題につきましては、学校力向上となっております。

委員会のまとめとしましては、1点目は今年から複式となった学級があること、また支援学級の児童が中学校に進学するなど、先生が2名減少したことで、先生達が忙しくなり大変ではと思っていたが、拝見したところ、ベテランの先生達が上手く対応し、子どもたちの様子が落ちついているのが伺えて安心した。

もう1点は、今年度の最重要課題が学校力向上で、ぐるぐるノートの取り組みが、児童の家庭学習の習慣化の道具となっていることなど、細かい工夫や努力を感じたとなっております。

4ページになります。

虻田中学校になります。

虻田中学校につきましては、9月29日火曜日の訪問してございまして、学校の最重要課題につきましては学力向上となっております。

委員会のまとめにつきましては、三密にならないよう図書室を使つての分散授業の取組に感心した。

もう1点目は、分散での授業を図書室のみでしかできないのであれば、他の教室を提供して、授業をさせたいと思ったとなっております。

続きまして5ページ、洞爺中学校になります。

洞爺中学校につきましては、9月30日水曜日に訪問してございまして、最重要課題は、コロナ禍における学力保障となっております。

委員会のまとめとしていたしましては、1点目は、最重要課題がコロナ禍における学力保障で、学力に関しては自学交流会に取り組みされており、いい意味で伝統が脈々と受け継がれていると感じた。

2点目は、コロナ感染症対策として、ジャージ登校や飲み物の持参など、きめ細やかな対応をしていると思ったとなっております。

6ページ、高等学校になります。

虻田高等学校につきましては9月30日水曜日に訪問してございます。

虻田高等学校の学校課題等につきましては3点ございまして、1点目は地域連携特例校の現状について、2点目は生徒確保対策について、3点目は、3年生の進路状況についてとなっております。

委員会のまとめとしましては、1点目は、室蘭市から1名の生徒が通学していることもあり、校長先生が室蘭市内の中学校を全て訪問していることをお聞きし、すごく熱心に生徒さんを集めていると感じた。

2点目は、小規模校の利点を生かした学校運営や西胆振地区で唯一の商業系



の学校で、地元の就職に強いことを1番に打ち出していくことが必要と思う。

3点目は、虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会との連携もこれまで以上に活発に動いていただきたいと思いますとなっています。

以上、町内各小中学校、虻田高等学校の令和2年度の教育委員学校訪問の概要報告として、まとめさせていただきます。

以上でございます。

#### 皆見教育長

ただいま事務局から説明を受けましたが。

それでは質疑を受けたいと思います。

何かございますでしょうか。

委員会のまとめとして、代表的なものを説明させていただきました。それ以外に皆様から頂いた御意見は事前に配布している議案の別冊に記載しております。

いかがでしょうか。

#### 岡本委員

学校で取り組んでいるマチコミですが、2年目ですか。

#### 皆見教育長

そうですね。

#### 岡本委員

コロナ禍で、学校も家庭も開かれていない状況になり、赴任された先生の顔はプリントで見たということも多い中で、虻田小学校のこのマチコミというのが家庭と地域で、学校を応援しようとする応援団の方たちと学校をつなげるのに重要なのではないかと思います。今の親の世代にとってはプリントでいただくよりも、行事写真を見ることで、様子が伝わると思います。他の小中学校でもぜひ取り組んでいただきたいというのが感想で、それが先生方に負担になるのかもしれないですが、ぜひそういう発信をして欲しいと思います。

#### 皆見教育長

ありがとうございます。

私もマチコミについては本当に毎日写真をアップしている状況ですから、見学をさせていただきました。

これは他に各小中学校ではメールという方法を活用していますけれども、先生方の働き方改革ということがございまして、勤務時間数を極力減らしていこうというような現状の中で、先生の負担についての議論というのは今後必要になってくると思いますので、御意見いただきましたのでこの点につきましては校長会、教頭会等で十分に学校からの御意見等をいただきながら検討してまいりたいと思っておりますので、御理解いただければと思います。

他にございますでしょうか。

#### 吉田委員

学校運営協議会を本格的に動いていただかないと、今の状態でしたら、学

校評議員制度と変わりないように見えます。

せっかくコミュニティースクールにしたのですから、学校の管理者が指導権を持って本格的に動いていく必要があるではと思って見させていただきました。

#### 皆見教育長

今、コロナ禍の状況で開催が難しいというお話も現場から聞いているところですが、学校運営協議会が本当にこれからの学校のあり方、それから地域との連携や、子供たちを支えていく中で大きな役割を担うところだと私も認識しております。

そういった意味ではやはり学校に十分、学校運営協議会のあり方というのをもう一度再検討していただいて、十分な活用方法についても協議をしていただくというようなことで、今後、教育委員会もその中も入って、さまざまなアイデアを出し合いながら協議会の活発な活用について協議してまいりたいと思っています。

他にございますでしょうか。

#### 岩原委員

P T A活動は今も自粛傾向なんですか。

#### 岡本委員

はい。

#### 皆見教育長

岡本委員、どうぞ。

#### 岡本委員

どこの学校も、三役以外は活動ができない状況のようです。

#### 岩原委員

はい。

#### 皆見教育長

岩原委員、どうぞ。

#### 岩原委員

これは何かやはり対策を考えていかなければならない状況ではないかと思っています。

#### 皆見教育長

P T Aの協力というのは学校としては大変貴重なものと思っておりますので、その辺のあり方について、もう少し協議していかねばと考えていますが、やはり感染の拡大を防ぐという、まずそこからスタートしなければならないことから、学校としてもかなり慎重になっている現状でございますので、この点については御理解いただければと思っております。

他ございますでしょうか。

#### 来栖委員

先達ての北海道新聞で小中学生のストレスについての調査記事があり、1番のストレス原因はマスクという回答が載っていました。私たち大人でもこ

のマスクがすごくストレスに感じています。洞爺湖温泉小学校はバス乗って帰って来るまでずっとマスクをしています。登校してから給食を除いてマスクをしていますので、感染が怖いのはわかりますが、どこかでマスクをはずす、息抜きのか場を考えていただけたらと思います。

#### 皆見教育長

体育の授業は、はずしていますけれども、それ以外、給食はもちろんはずしていますけれども、基本マスク着用になってますが、そういった御意見があったということは学校にお伝えをさせていただきたいと思います。

他にいかがでしょうか。

《「なし」の声あり》

よろしいですか。

《「はい」の声あり》

それでは提案のとおり承認することよろしいでしょうか。

《「はい」の声あり》

異議なしと認めます。

協議第3号学校訪問については、原案のとおり承認されました。

協議第4号保育所訪問総括についてを議題といたします。

事務局説明をお願いいたします。

#### 末永管理課長

協議第4号保育所訪問総括について、議案書13ページになります。

保育所訪問総括について別紙のとおり協議をするものでございます。

先ほどの別冊の7ページになります。こちらに保育訪問の概要を記載してございます。

これに基づきまして説明をさせていただきます。

今年度の訪問につきましては、コロナ禍での訪問となりましたけれども、10月2日金曜日に実施してございます。

委員会のまとめとして、本町保育所、桜ヶ丘保育所、入江保育所、洞爺保育所を載せてございますけれども、4保育所まとめた形で説明をさせていただきますので御理解いただきたいと思います。

各保育所の課題につきましては、本町保育所、洞爺保育所、桜ヶ丘保育所の課題につきましては保育士の不足を挙げています。

入江保育所につきましては保育士の不足もありますが、施設の老朽化を課題として挙げています。

8ページをお開き下さい。委員会のまとめとして、主に2点ほど、御説明させていただきます。

1点目としましては、保育士や保育の補助をしている職員が少ないことは、去年より緩和されたと思うが、休暇を取りやすい環境を作ることや保育士の確保などをしていただきたい。

もう1点目は、洞爺保育所の話で、私達が子ども預けていた頃と今の若いお母さんお父さんの子ども預ける感覚が違うということを改めて感じた。

などをまとめさせていただいてございます。

町内 4 つの保育所の令和 2 年度の教育委員訪問の概要としてまとめさせていただいてございます。

以上でございます。

#### 皆見教育長

今、事務局から、説明がありました。質疑を受けたいと思いますが、何かございますでしょうか。

補足なんですけれども、前回総括の話し合いのときに、保育士と親とのコメントのやりとりを行ってはお話があったと思いますが、月 1 回手帳で行っているということ確認しましたので、追加で報告いたします。何かございますか。

#### 来栖委員

今の親はペーパーが苦手というような内容がありましたが、これから小学校に上がる子供たちはペーパーで授業する訳ですから、親が苦手だからといっても、やはり子供に教えてあげてもらいたいと思います。

SNS といっても、国語が基本ですから、親が苦手になると子供も苦手になる可能性があり、そこがとても危惧される部分です。

#### 岡本委員

はい。

#### 皆見教育長

岡本委員、どうぞ。

#### 岡本委員

プリントには書いていますが、それを十分に理解している親が減っていて、「プリントに書いてありましたよね。」と伝えても読んでいなかったと言われるので、伝わっていない家庭には、電話で連絡するという、大変なやりとりをしていると、保育士さんから聞きました。保育所だけでなく学校も同じような感じのようです。ただ、メールはよくチェックして読んでいるようです。

#### 来栖委員

はい。

#### 皆見教育長

来栖委員、どうぞ。

#### 来栖委員

プリントを見ていないというのは、親にプリントを渡していないということあると思いますが、「帰ったら、必ず親に渡すんだよ。」と少し先生が言っただけであれば、少しは渡すことが増えるのかなと思います。

#### 皆見教育長

併用してお知らせしていくのが理想ですが、保育士も人数ぎりぎりの中で業務しており、どうしても保育を優先しますので、事務仕事の時間が取れないという状況があります。

今の時代の流れとして、そういった電子媒体の利用について、すぐできる

かできないかは別にしまして、これにつきましては、今後の協議事項ということでもよろしいでしょうか。

《「はい」の声あり。》

ありがとうございます。

他でございますでしょうか。

#### 岩原委員

今回の保育所の訪問で感じたのは、確かに親御さんも忙しなのでしょうけれど、育児から解放されたいから預けるみたいなの、そういう親御さんがいると聞いて、農家の人も忙しいのは理解していますが、小さい子がいなくても、あまり仕事に出てる姿は見ません。

子供が小学校の中学年ぐらいまでにならないと、農家の若いお母さん方は仕事に出てこないっていうのが多いようです。

農村部では何かそういう感じだど指摘されてましたけども、なるほどそうなのかなという感じがします。

冬季間ぐらいは農家の人だったら、自分ところで育児するほうがいいんじゃないかなとは思っています。

#### 皆見教育長

認可保育所ですから、入所要件に該当するという事で入所している訳ですが、貴重な御意見を頂きまして、ありがとうございます。

高台が特に小さなお子さんがいる家庭が多い状況だと思っておりますし、保育所に小さな時期からの入所は増えてきているということで、その点においても今の時代の流れなのかなと思っております。

#### 岩原委員

はい。

#### 皆見教育長

岩原委員、どうぞ。

#### 岩原委員

たしかに、共同生活を経験させることは大切なことだと理解しております。

#### 皆見教育長

共同生活をさせる時期の見極めがいつなのかは、それぞれの保護者のお考えも様々でしょうから、行政としてはサポートしていくという方向性は変わらないということですので、その点は御理解いただければと思います。

他でございますでしょうか。

よろしいですか。

《「なし」の声あり。》

はい、ありがとうございます。

それでは、提案のとおり承認をすることとしてよろしいでしょうか。

《「はい」の声あり。》

異議なしと認めます。

協議第4号保育所の訪問総括については、原案のとおり承認されました。

<p>日 程 第 6 【 そ の 他 】</p>	<p>日程第6、その他でございます。 皆様から何かございますでしょうか。 《「なし」の声あり。》 事務局のからありますか。 <b>末永管理課長</b> ありません。</p>
<p>日 程 第 7 【 閉 会 】</p>	<p><b>皆見教育長</b> 以上をもちまして、洞爺湖町教育委員会令和2年第4回定例会議を終了させていただきます。  10：20 閉会</p>